

令和5年安八町長選挙 立候補者アンケート

野中 裕一郎 氏 アンケートのご回答

1) NPOへの期待について(300字以内)

現代社会では社会的課題が多様化する中で、地域の課題解決のために様々なNPOなどの公益活動団体(以下「NPO等」という。)が活動しています。NPO等について、安八町のより良いまちづくりのために、期待することはありますか。

はい

いいえ

その他

詳細(300字以内)

社会構造が硬直化し、課題が複雑化・多様化する中でNPO等に期待するところは極めて大です。しかし安八町において活動を展開してるNPO等の数は大垣市の半数に満たないのが現状です。(人口あたりの数)

少なくとも大垣市のレベルまでにはNPO等の活動が増えていくことを期待しております。現在は福祉を中心に活動しているNPO等や、体操を中心にスポーツの推進に寄与しているNPO等がありますが、いずれも素晴らしい成果を上げています。

今後は、障がい者福祉、いじめ・ひきこもり等に取り組むNPO等の登場に期待するとともに、その育成に尽力したいと考えています。

そして、NPO等の発足を促進するためには、人材の発掘が最も重要であると考えます。

2) NPOへの活動支援施策について(300字以内)

安八町の「第五次総合計画 後期基本計画 目標7 みんなで協働する参画・交流のまちづくり」では施設の展開方向として「ボランティア・NPO団体の育成」が書かれています。NPO等の活動をより推進していくために、活動費の補助やその他に活動支援施策は必要だと考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合はお考えの施策がありましたら、具体的にお答えください。

はい

いいえ

その他

詳細(300字以内)

NPO法人は、ボランティア団体といえども、保険や旅費などは活動をするたびに係るものであり、費用を賄うためには収入が不可欠です。

その主な収入源は「会費・寄付金・助成金・補助金・事業収入・借入」によって賄われていますが、厳しい経営状況にある団体が大半を占めています。

活動の趣旨や実態に応じて、安八町からの補助金が公平かつ公正に交付される必要があると考えています。

3) NPOとの協働関係の構築について(300字以内)

安八町では、「安八町自治基本条例」を定め、町民主体のまちづくりや町民・議会・町の協働によるまちづくりを実践するための指針が制定されています。今後も安八町のまちづくりのために、安八町とNPO等が協働関係を築き、NPO等との協働関係の構築・発展を進めていく必要があると考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合は協働関係の構築やその関係を有効に運用するためにお考えの施策等がありましたら、お答えください。

はい

いいえ

その他

安八町に暮らす人々の「く・ら・し」を支えることを、役場が一手に引き受ける時代はすでに終わりを告げています。

そのために安八町とNPO等が協働関係を築くことは重要ですし、その活動の領域はシームレスであるべきです。

互いを補完し合うこと、そして刺激し合うことで、新しい施策が生まれてくるはずです。

その場として、町長が主幹するNPO等連絡会議を立ち上げ、安八町とNPO等との協働関係を構築します。

ご協力ありがとうございました。